

市長指摘事項（教育委員会：管理課所管分）

2. 学校適正配置の検討について（再説明：スケジュール資料を提示）

■やらなければならないのは（藤島中学校の）校舎の耐久度合いを調べることではないのか。修繕で済むのか、いつまでもつのか。ハード的な面から見た期限を示すこと。

五小の改築計画の後という計画はとってつけた話で、老朽化が進めばやらなければならない。教育委員会の最も基本的な仕事であり、ハードが無ければ教育はできない。齋小のようになってはならない。

数字を示して、他との比較をしながらリミットはこの辺と示すこと。

この資料からは良いのかどうかも分からない。過去との比較、国の基準を示して説明を統廃合は市町村合併のようなもので結論ありきではない。なぜ統廃合しなければならないのか。他と比較して無理してやっているのか、遅れているのか。データをそろえて説明を。市役所はワンチームと考え、ハード整備、まちづくりに関することは議論する適切なチームでブレインストーミングを重ねて作る。縦割りなので難しいが、過去から勉強して誰が何を分担しているか、組織要求をするのもそういったところから。

（企画部長）考え方を整理し、必要性など根本的なところから企画部とすり合わせをし、ヒアリングに耐えられるようになったら再度説明すること。

学校適正配置も行革として検討すべきではないのか。

（職員課主幹）前は行革からは外している。

（副市長）学校適正配置は行革という考え方ではなく別に考えるべき。